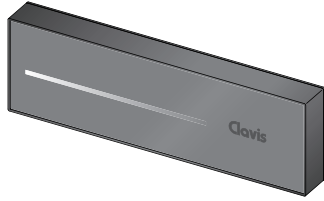


Tebra A CONNECT

クイックスタートガイド



オプション種類

操作電源盤
警備連動機能

※ 上表はお客様のご住居に設定されているオプションの種類です。
該当する部分のみ、お読みください。

保存版

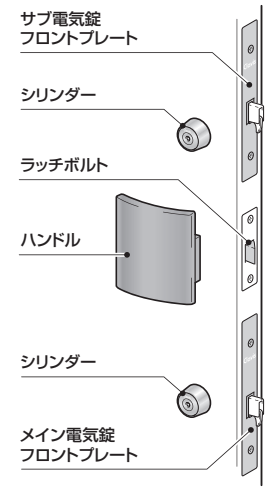
- このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- 製品を末永く安全にお使いいただくために、WEB取扱説明書「お使いになる前に」をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

WEBの取扱説明書はこちらをご確認ください。

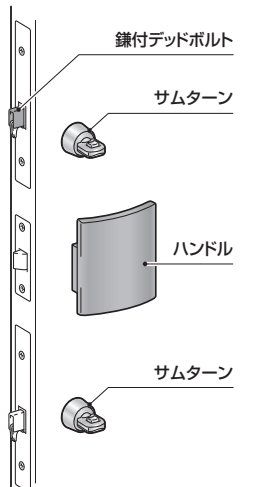


各部の名称

ドアまわり部品 (室外側)



ドアまわり部品 (室内側)



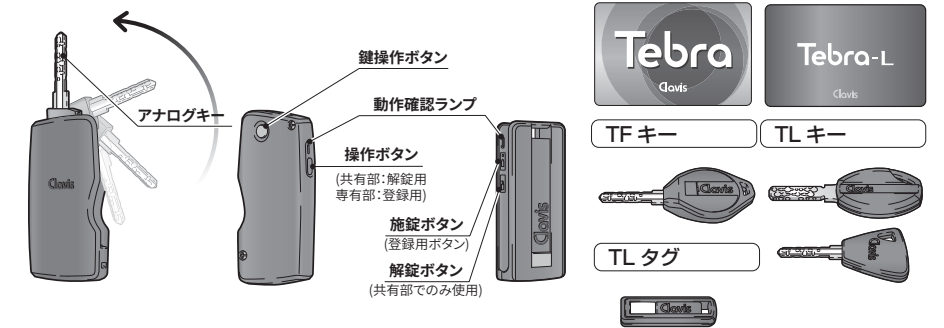
認証キー

ハンズフリーキー

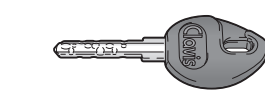
Tebra キー Tebra タグ

非接触キー

TF カード TL カード

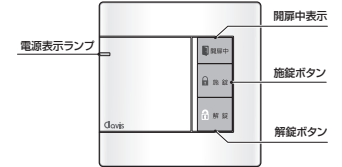


キー※



※：電氣的な操作はできません。

操作電源盤 (オプション)

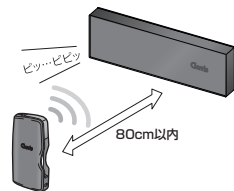


ハンズフリーキーについて

ハンズフリー操作

ハンズフリーキーがリーダの作動範囲内※にあれば、ハンズフリーキーをカバンなどに入れたままでも「Clavis」マークを目安に約3cm以内で手かざし、またはタッチで施錠/解錠ができます。

- ハンズフリーキーの揺れを検知していないとロックを施錠/解錠することはできません。ロックの施錠/解錠ができないときは、ハンズフリーキーを少し揺らしながらロックを施錠/解錠してください。



※：作動範囲は設置環境によって異なります。

ハンズフリーキーのスリープ機能

ハンズフリーキーを6秒以上、静止状態で保持すると、電池の消耗を防ぐためにスリープ機能が働きます。

- スリープ機能が働いたハンズフリーキーは、作動範囲内であってもハンズフリー操作ができなくなります。

スリープ機能の解除

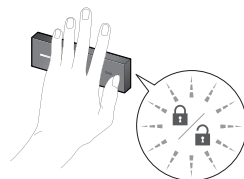
ハンズフリーキーを少し揺らしてください。



ハンズフリー操作

- 1 ハンズフリーキーを持ったままリーダの作動範囲内に入ります。
- 2 リーダの「Clavis」マークを目安に約3cm以内で手かざし、またはタッチします。

動作状況	ランプ
解錠	白色点灯→赤色点灯
施錠	白色点灯→緑色点灯



タッチ操作

- 1 非接触キーの認証範囲とリーダの「Clavis」マークを目安に合わせてかざします。位置がずれ過ぎると認証されず、施錠/解錠ができません。

動作状況	ランプ
解錠	白色点灯→赤色点灯
施錠	白色点灯→緑色点灯



認証キーの抹消方法

この製品は、複数(※最大16個)のID媒体(認証キー)を登録できます。ご使用前に認証キーの再登録をおすすめします。新たに認証キーを追加購入した場合は、登録が必要です。その際、既に登録してあるID情報の抹消が必要です。※：ただし、ハンズフリーキーおよび非接触キーは、各最大8個までです。

認証キーのID情報の抹消

- 1 以下の物をお手元にご用意ください。
 - 今までお使いの認証キー
 - 新規に登録したい認証キー

- 2 ロックを解錠しドアを開けます。

- 3 ドア下側のメイン電気錠のフロントプレートははずします。

プラスドライバーを使用し、ネジ(M4)ははずします。

- 4 メイン電気錠登録スイッチを下げてONにし、ID登録・抹消モードにします。

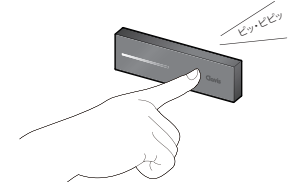
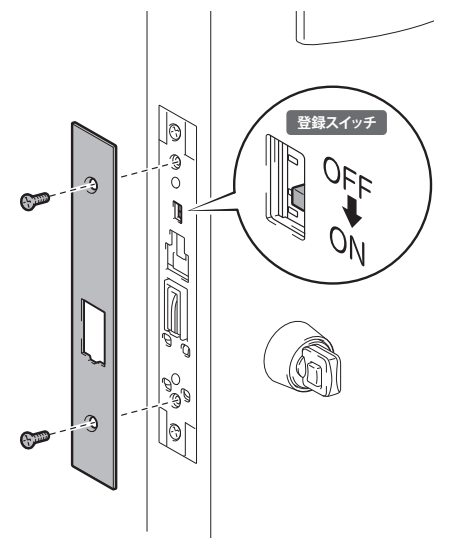
ID登録・抹消モード中はドアを閉めないでください。

- ID登録・抹消モード中はリーダが赤色点滅し続けます。
- ドアが閉まった場合は、再度ドアを開け、メイン電気錠登録スイッチをON→OFF→ONにしてください。

- 5 リーダの「Clavis」マークに5秒以上、タッチします。

“ピッ・ピッ”とブザーが鳴るまでタッチし続けてください。すべてのID情報が抹消されます。(ブザーが鳴る前にタッチ操作を中断すると、ID情報が抹消されません)

- ID情報が抹消された認証キーは、そのままでは使用できません。すぐに再登録を行ってください。(4~5ページ)



動作状況	ランプ	ブザー
認証全消去	緑色点灯 (1.5秒)	ピッ・ピッ

- 6 メイン電気錠登録スイッチをOFFにし、設定モードを解除します。

- 7 ドアを開け、ドア下側のメイン電気錠のフロントプレートを取り付けます。(上記参照)

認証キーの登録方法

認証キーの ID 情報の登録

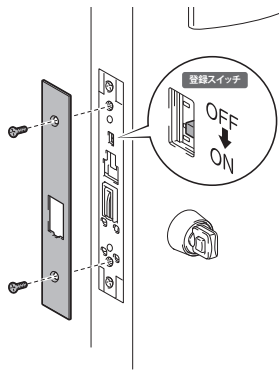
- 1 新規に登録したい認証キーをお手元にご用意ください。
- 2 ロックを解錠し、ドアを開けます。
- 3 ドア下側のメイン電気錠のフロントプレートははずします。

プラスドライバーを使用し、ネジ (M4) をはずします。

- 4 メイン電気錠登録スイッチを下げ ON にし、ID 登録・抹消モードにします。

設定モード中はドアを閉めないでください。

- 設定モード中はリーダが赤色点滅し続けます。
- ドアが閉まった場合は、再度ドアを開け、メイン電気錠登録スイッチを ON → OFF → ON にしてください。

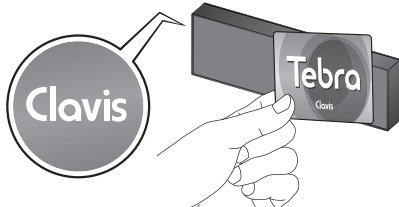


- 5 認証キーの登録をします。

非接触キー (登録可能 ID キー数: 最大 8 個)

リーダの「Clavis」マークに、登録する非接触キーを 2 秒以上、かざし続けます。

“ピピッ…ピッ” とブザーが鳴るまで非接触キーを「Clavis」マークから約 1cm 以上、離さないでください。かざした非接触キーのみ登録されます。(ブザーが鳴る前に非接触キーを「Clavis」マークから離すと、認証されません)

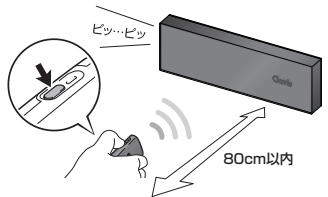


ハンズフリーキー (登録可能 ID キー数: 最大 8 個)

最初にハンズフリーキーに内蔵された IC チップを、非接触キーと同様の方法 (上記参照) で登録・動作確認を行ってください。

リーダの登録検知範囲内 (約 80cm 以内) で、登録するハンズフリーキーの操作ボタンまたは登録用ボタンを 2 秒以上押し続けます。

“ピッ…ピッ” とブザーが鳴るまでハンズフリーキーを登録検知範囲外に出さないでください。操作ボタンを押したハンズフリーキーのみ登録されます。(ブザーが鳴る前にハンズフリーキーを登録検知範囲外に持ち出すと、認証されません)



ハンズフリーキーの電池交換 / カラーチップの取り付け

キーの判別のため、購入した際に付属のカラーチップを取り付けてください。(Tebra キー / Tebra one キーのみ) 電池が消耗してくると、電池切れ警告が現れます。その場合は速やかに電池を交換してください。

使用電池: コイン型リチウム電池 CR2032

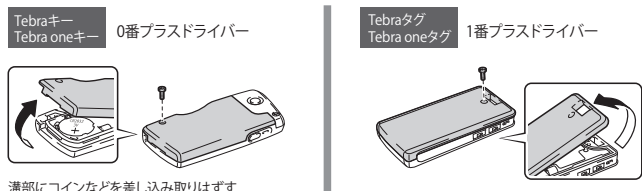
電池はカメラ店、家電販売店などでお買い求めになれます。

電池交換のしかた

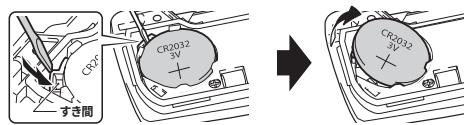
取りはずした部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

- 1 一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。
- 2 裏面のネジを取りはずし、カバーを取りはずします。

ドライバーはホームセンターなどでお買い求めになれます。

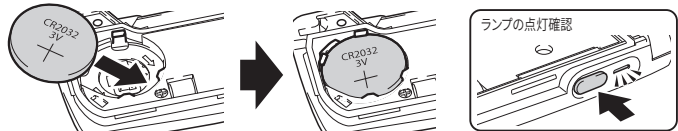


- 3 ドライバーなどをすき間に差し込み、起こすようにして古い電池を取りはずします。



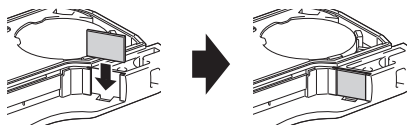
- 4 新しい電池を差し入れ、動作確認をします。

(+) が上になるように取り付けます。

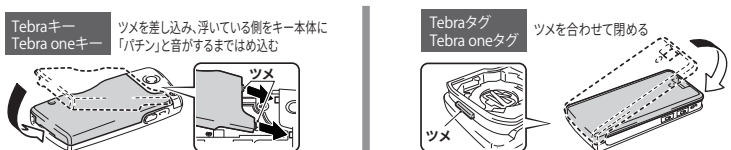


- 5 お好きな色の付属のカラーチップを台紙から取りはずし、スライドしてはめ込みます。

(Tebra キー / Tebra one キーのみ) カラーチップの印刷面をこすると、印刷がはがれる恐れがあります。ご注意ください。



- 6 カバーを元にもどし、ネジを締め込みます。



動作状況	ランプ	ブザー
ハンズフリーキー 認証時	緑色点灯	ピッ…ピッ
非接触キー 認証時	緑色点灯	ピピッ…ピッ
認証異常	赤色点滅 (3回)	ピー---
登録件数エラー (8 個登録済)	赤色→緑色の交互点灯	ピー

- 6 すべての認証キーに対して 5 の操作を行います。
ロック解除かつドアを開けた状態で、すべてのハンズフリーキーおよび非接触キーの登録を完了させてください。
- 7 メイン電気錠登録スイッチを OFF にし、ID 登録・抹消モードを解除します。
- 8 ID 情報を登録したすべての認証キーで施錠 / 解錠操作を行い、正常に作動することを確認します。(2 ページ)
- 9 確認後ドアを開け、ドア下側のメイン電気錠フロントプレートを取り付けます。

エントランスも認証キーで開閉できる物件にお住まいのお客様へ

認証キーの再登録を行った場合、エントランス用の制御盤も登録をやり直す必要があります。速やかにエントランス用の制御盤への再登録を行ってください。(エントランス用の制御盤への再登録は、弊社サービス代行店までご連絡ください)

保証書

この度は当社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。本保証書は、品質保証事項に記載の規定によりです。保証期間内に故障した場合は下記取扱店に修理をご依頼下さい。尚、修理の際には本書をご提示下さい。

品質保証事項

1. 保証内容: 通常の取り扱いによって生じる品質不良、性能及び機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの
2. 保証期間: 製品のお買い上げ日より 2 年間
 - ・お買い上げ日を本書にご記入ください。
 - ・サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類などを大切に保管してください。サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類が無い場合は、勝手ではありますが、当社商品に記載している年月を保証開始時期の目安とさせていただきます。
3. 保証適用地域: 保証運用範囲地域の限界は、下記サービス代行店の行動範囲内 (100 km 以内) とします。
この範囲を超える遠隔地及び離島・山頂等の地域への出張により修理・交換を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
4. 免責事項: 原因が次の様な場合は保証期間内であっても有償修理となります。
 - ・ 本書の提示がない場合
 - ・ ご使用開始以前の保管・輸送・設置配線工事に起因する故障、および損傷
 - ・ 他の機器からの異常電圧・電流を受けたことによる故障、および損傷
 - ・ 電池の入れ間違い等ご使用上の間違いや破損
 - ・ 電池の交換
 - ・ コピーしたキーに起因する不具合
 - ・ 使用者もしくは第三者の誤り、または不当な修理や改造によるもの
 - ・ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法をされた場合の不具合
 - ・ 錠以外の商品または部品 (扉、丁番、ドアクローザなど) に起因する錠の不具合
 - ・ 商品または部品の経年変化 (使用に伴う消耗、磨耗など) や経年劣化 (樹脂部品の変質、変色など) またはこれらに伴うさび、その他の不具合
 - ・ 錠穴への異物 (例えば、針金、マッチ棒など) 挿入、注油、昆虫の侵入、ほこりによる不具合
 - ・ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合 (例えば塩害による腐食、大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ・ 天災その他の不可抗力 (例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など) に起因する不具合
 - ・ 犯罪などの不法な行為 (ピッキング、パールの道具によるこじ開けなど) に起因する破損や不具合
5. 電気錠耐用年数: 引き渡し後あるいは購入後より 7 年間
 - ・ 耐用年数とは、製品の基本性能を保守・点検により維持できる取り替えまでの目安の期間として日本ロック工業会が定めたもので、製品の保証 (無償修理) 期間とは異なります。
 - ・ お買い上げ日を本書にご記入の上、領収書などお買い上げ日が分かる書類を保管ください

上記品質保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan
消耗品 (電池等) は保証対象外となります。

- ※ 本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※ 保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、取扱店へお問合せ下さい。
- ※ 本書は再発行致しませんので、全てご記入のうえ大切に保管して下さい。

サービス代行店名・住所・電話番号	お買い上げ日 年 月 日
	保証期間 お買い上げ日より 2 年間